

紙のまちのカーボンニュートラル

四国中央市 市民部
生活環境課 脱炭素推進室

国の動向及び経緯

2020年（令和2年）
2050年カーボンニュートラル

2050年までに温室効果ガスを全体としてゼロにする「脱炭素社会」を目指すことを宣言

2021年（令和3年）
気候変動サミット

- ・ 2050年カーボンニュートラルに向け、温室効果ガス排出量を2030年までに2013年比46%削減目標
- ・ 地球温暖化対策計画を策定

2021年（令和3年）
地球温暖化対策推進法

地球温暖化対策計画を改定し、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組み等を定める。

2050年 脱炭素社会の実現へ

四国中央市カーボンニュートラル協議会 設立(R3.6)

産業界におけるカーボンニュートラル実現へのプロジェクトとして設立された。

本市の地域特性を踏まえ、地域内で面的に連携し、効果的なエネルギー転換を図っていくための現実的な方策や過程を検討する。



眞鍋淑郎博士 ノーベル物理学賞 受賞(R3.12)

二酸化炭素濃度の上昇が地球温暖化に影響するという予測モデルを世界に先駆けて発表するなど、気候変動予測に関する研究を先駆的に開拓したことが、評価され ノーベル物理学賞 を受賞した。

本市の地理的特徴

- 瀬戸内海特有の温暖な気候。（「やまじ風（日本三大局地風）」が特徴。）
- 四国的高速道路の結節点に位置し、貨物の陸上、海上輸送を効率的、かつ一体的に活用できる地域。
- 重要港湾である三島川之江港を擁する地域。
- 「日本一の紙のまち」であり、紙関連産業が集積している地域。

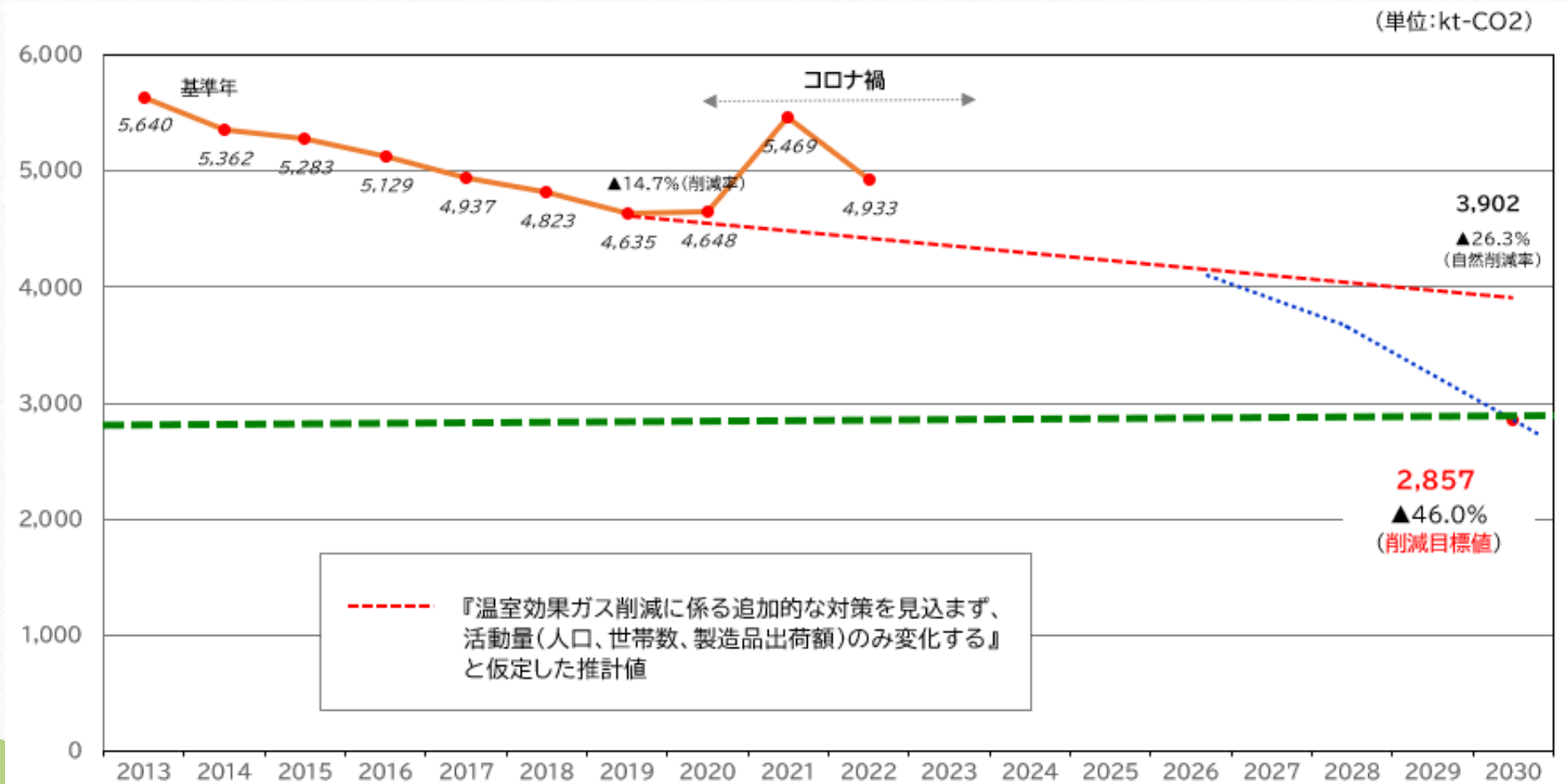
本市の温室効果ガス排出量

2022年度における市内の温室効果ガス排出量は **4,933** kt-CO₂、
基準年度(2013)比△**12.5**%(707kt-CO₂)、前年度(2021)比△**9.8**%(536kt-CO₂)の**減少**

年度 部門・分野	2013 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
単位 kt-CO ₂	平成 25 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
産業部門	5,064	4,668	4,476	4,383	4,245	4,225	5,044	4,545
業務その他部門	169	115	112	111	89	104	112	82
家庭部門	179	122	130	112	91	125	114	99
運輸部門	215	210	207	203	197	181	188	194
廃棄物分野 (一般廃棄物)	13	14	12	14	13	12	11	13
合計	5,640	5,129	4,936	4,823	4,636	4,648	5,469	4,933
削減率(%)	—	−9.0	−12.5	−14.5	−17.8	−17.6	−3.0	−12.5

(出所:環境省「自治体排出量カルテ(四国中央市)」 年度毎公表データ)(単位:kt-CO₂)

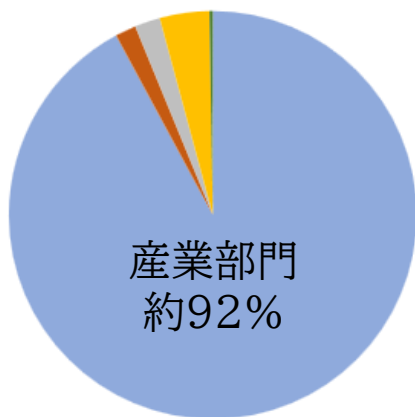
本市の温室効果ガス排出量



本市の温室効果ガス排出量

本市の基幹産業である紙産業は、製造工程で多くの熱を必要とするため、
⇒ 多くの化石燃料を使用する。 温室効果ガスの排出が多い産業(地域)

2022年(令和4年度) 四国中央市温室効果ガス排出量



排出部門	排出量 (kt-Co2)	割合%
産業部門	4,545	92.13%
業務部門	82	1.66%
家庭部門	99	2.01%
運輸部門	194	3.93%
廃棄物分野	13	0.26%
計	4,933	



本市の脱炭素・カーボンニュートラルは、産業との連携が必須

四国中央市ゼロカーボンシティの表明

本市においては、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組み、市内から排出される温室効果ガスを減らすことを目的に「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、取り組みを推進しております。

（昨今の社会情勢を踏まえ）

市発足20周年の節目となる年、次世代に向けたメッセージとして、また、脱炭素社会の実現に向けた取り組み強化を図るため、2050年二酸化炭素排出量を実質ゼロとする **「ゼロカーボンシティ」** を目指すことを令和7年3月定例会にて表明しました。

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

- 市民・事業者・行政の連携と協働のもと計画を推進。
- 庁内体制として、生活環境課が「脱炭素推進プロジェクト会議」などを通じて関連施策担当部署と連携して施策を推進。

※計画推進に係るアクションプラン（進捗管理評価）を作成、優先的に取り組む課題を抽出。

- 四国中央市カーボンニュートラル協議会と本市が連携して、市域産業部門の面的なエネルギー転換等を検討。

主な重点取組課題

取組項目		取組内容	「区域施策編」 取組番号
トンネルコンポスト		ごみ処理施設の再編	4-2-1
エネルギー転換		水素・アンモニア等の普及に向けた取組	3-4-1
森林由来クレジット		森林の持つ多面的機能の保全	5-2-2
カーボンニュートラルポート		三島川之江港脱炭素の推進	2-3-1
再生可能エネルギー	太陽光	公共施設のZEB化促進、発電施設の導入拡大	1-2-4 , 3-1-1
	小水力	小水力発電の導入拡大	3-3-1
照明のLED化	公共施設	照明設備のLED化	1-2-3
	公 園		
	市 道		

令和8年度の新たな取組み

- **ブルーカーボン(藻場再生)への取組み**

CO₂吸収源確保と漁場改善に向け、庁内横断および官民連携の体制を構築し、燧灘の藻場再生を検討します。

- **市民意識向上に資する啓発ツールの導入及びご当地版作成の検討**

小中学生や市民の脱炭素への理解と当事者意識を高めるため、カードゲーム「Get The Point」の導入とご当地版の作成を検討します。

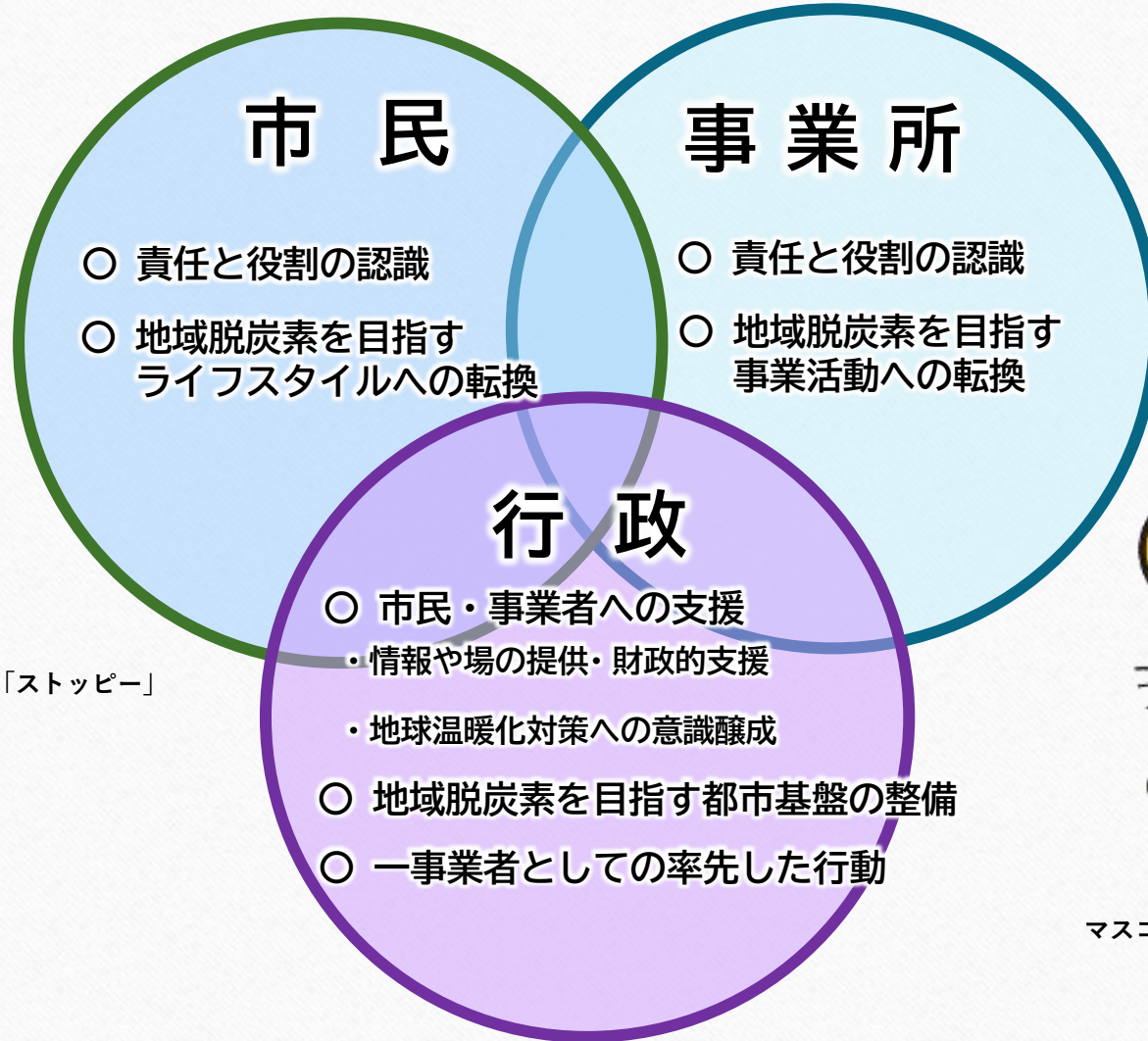
- **愛媛版脱炭素先行地域づくり支援事業**

県の支援のもと、地域新電力会社の設立検討や木質バイオマス設備導入に関わる調査などを実施予定です。

～ 脱炭素社会の実現に向けて ～



愛媛県地球温暖化防止キャラクター「ストッピー」



マスコットキャラクター「しこちゅ～」

2050年 ゼロカーボンシティ への挑戦

わたし おりなす



四国中央